

# 環境経営活動レポート

〔2021年度版;2020年度実績〕

レポート対象期間【2020年5月～2021年4月】



**鈴ヤ商事株式会社**

(登録番号 0003198)

2021年9月27日発行

## ○ 桜満開



坂戸工場

## ○再生可能エネルギーの取り組み

太陽光パネルを設置し、発電を開始(2014年4月23日)より



2020年度は48,729kWh発電しました。

..... 目 次 .....

1.	事業活動の概要.....	1ページ
2.	環境経営活動推進概況.....	2ページ
2.1	活動の経緯	
2.2	環境経営活動推進組織	
3.	環境経営方針.....	3ページ
4.	環境経営目標と実績.....	4ページ
4.1	二酸化炭素排出量の削減	
4.2	水の消費量の節減	
4.3	廃棄物排出量の削減	
4.4	コピー用紙使用枚数の低減	
5.	環境関連法規等の遵守状況の確認・評価ならびに違反、訴訟の有無.....	6ページ
5.1	関連法規の遵守状況	
5.2	関連法規の違反、訴訟の有無	
6.	環境経営活動の取り組み状況と次年度計画.....	7ページ
7.	代表者による全体評価と見直し結果・指示.....	8ページ

## 1. 事業活動の概要

- 会社名 鈴や商事株式会社  
<http://www.su-zu-ya.co.jp>
- 所在地 埼玉県川越市新宿町4-1-4 (本社・川越事業所)  
埼玉県坂戸市青木673 (坂戸工場)
- 創立 昭和45年5月1日(1970年)
- 資本金 3,000万円
- 代表者 代表取締役 社長 内野 利春
- 環境管理責任者 執行役員 業務部長 三上 淳一  
連絡先 〒350-0027 埼玉県坂戸市青木673  
TEL:049-283-5858 FAX:049-283-5859
- 認証・登録範囲 本社・川越事業所ならびに坂戸工場のサイト全域
- 認証・登録日 2008年12月26日(登録番号;0003198)
- 事業内容及び事業規模

事業年度;5月~4月

事業内容	エアゾール製品の包装及び流通加工分野の医薬部外品・化粧品・食品等の包装・梱包作業の受託生産 ◆許認可;医薬部外品・化粧品製造業(包装)、食品製造業 有機JAS認定事業所
事業規模 (2019年度)	● 従業員 総人数 181名 (本社・川越事業所 52名、坂戸工場 129名) ● 延床面積 総延床面積 7,060㎡ (本社・川越事業所 1,594㎡、坂戸工場 5,466㎡)

・当社の所有する第一倉庫、新宿倉庫、ビジネスパーク、宿東倉庫、圏央坂戸インター北倉庫、青木野積倉庫、京都出張所については、他社と不動産賃貸契約で全貸しているため認証・登録範囲外。



化粧品セットライン



シュリンク包装(オンパック)



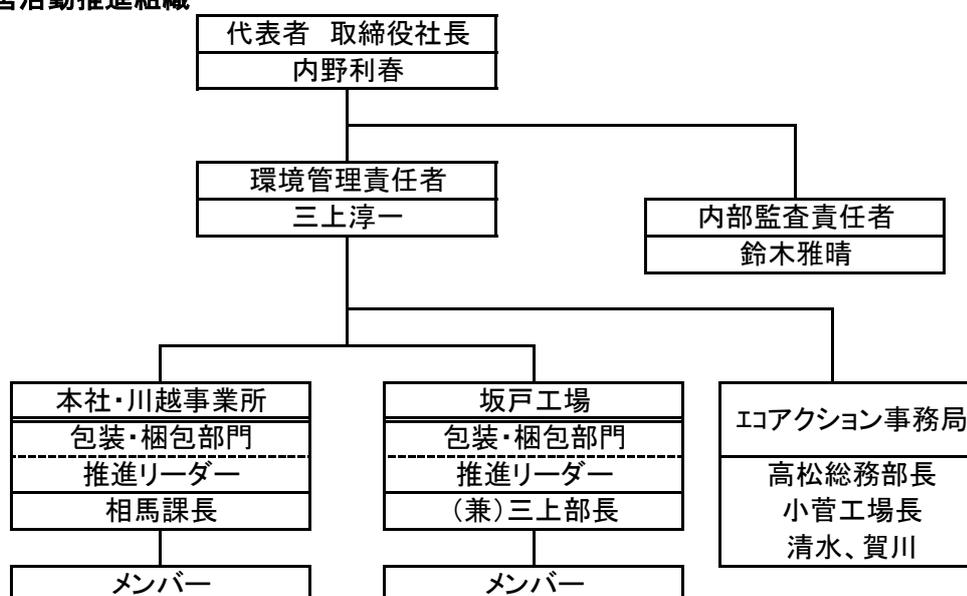
ギフト商品などの詰合せ

## 2. 環境経営活動推進概況

### 2.1 活動の経緯

年度	推進概要
2007年10月	・「エコアクション21」認証・登録に向け、環境省作成の「2004年版ガイドライン」に基づき、本年10月より準備活動を始め、運営組織・運営要領（環境マニュアルの策定、文書・記録等）を定め、環境方針を策定した。
2008年 2月	・ 2008年2月より「エコアクション21」の本格的活動を開始。
々 5月	・ 基準値を2007年度実績に置き換え、2008年度環境目標値を変更。
々 9月	・ 9月；登録審査を受け、12月26日に認証・登録を果たす。
2010年 4月	・ 2009年度活動結果を踏まえ、「リサイクル率の向上」を環境目標から除外し、新たに「可燃廃棄物量の削減」を2010年度より導入とともに環境方針を改定。 ・ 長期環境目標（2014年度目標）を設定。
々 6月	・ 「2009年度版ガイドライン」に基づき、2009年度実績の環境活動レポートを作成。
々 7月	・ 弊社社長が川越市環境政策課及び地域事務局さいたま共催の「自治体イニシャティブ事前説明会」で弊社のエコアクション21活動取組事例を発表した。
々 9月	・ 9月；初めての更新審査を受審。審査に当たっては「2009年度版ガイドライン」に基づき実施された。特に問題なしとの評価を得る。
2011年 4月	・ 東日本大震災の影響による節電要請に伴い、電力使用量を前年度対比15%削減で設定。
2012年 4月	・ 事業内容変更（エアゾール事業から撤退）に伴い環境方針を改訂。 これにより、「化学物質の管理」項目を環境負荷項目より除外した。
2014年 4月	・ 太陽光発電稼働、売電を開始する。長期（5年）環境目標最終年度。
2015年 4月	・ 基準値を2007年度から2013年度実績に変更。第2次長期目標（2019年度）を設定。
2016年 4月	・ 2015年度実績から、従来の4月～3月サイクルから経営年度に合わせ5月～4月サイクルに変更。
2018年 5月	・ 「2017年度版ガイドライン」に基づき、環境経営方針を改訂（4版）
2020年 6月	・ 第3次長期目標（2024年度）を策定。

### 2.2 環境経営活動推進組織



### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

#### 【環境理念】

鈴や商事株式会社は、美しい地球と私たちが活動する地域の環境を守るため、事業活動を通じて環境保全に努め、環境に配慮した社会の実現に貢献します。

#### 【方針】

- 環境経営目標を定め、環境負荷の削減に努めるとともに環境経営マネジメントシステムの継続的改善・向上を図ります。
- 環境に関連する法規制を遵守し、環境汚染の防止及び環境保全に努めます。
- 次の項目を重点的に取り組みます。
  - ①電気・化石燃料エネルギーの省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減を図る。
  - ②水やペーパー類の節減に努め、資源保護に貢献する。
  - ③廃棄物総量の削減とともに廃棄物の分別を徹底し可燃廃棄物の低減を図る。
- 環境経営活動内容を社内に掲示し、従業員全員へ環境経営活動意識高揚を図る。
- この環境経営方針は、従業員全員に周知徹底するとともに、社内外に公表します。

2018年5月1日

鈴や商事(株)

代表取締役社長 内野 利春

(第4版)

#### 4. 環境経営目標と実績

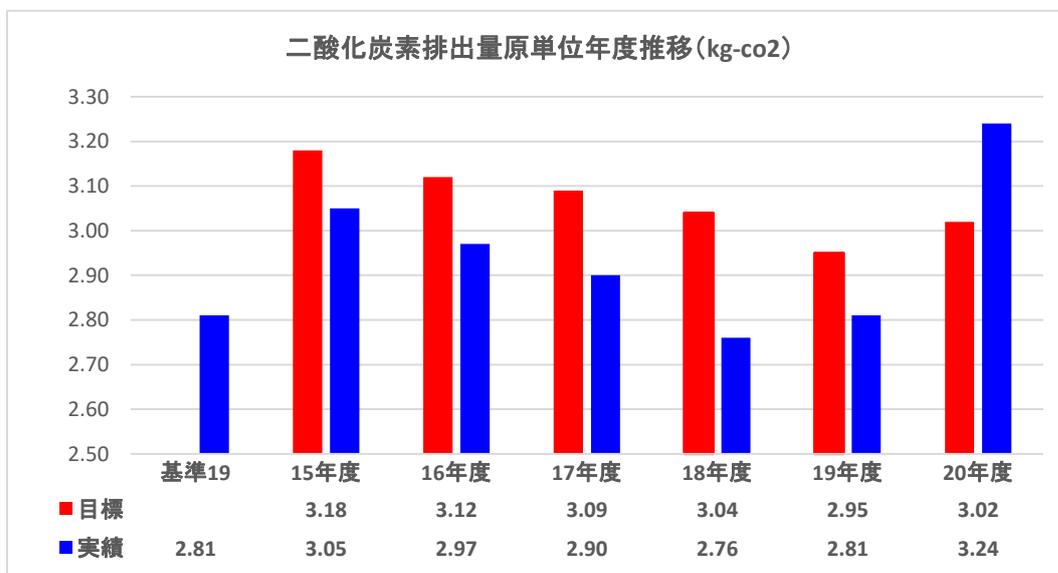
2020年度環境経営目標・実績(2020/5~2021/4)は以下のとおり。

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年4月から大幅な受注減に陥っており、現在に至っても回復する兆しが見えない状況。売上が低迷すると原単位の数字に大きく影響してくるので、売上減を予測して目標を立てたが、大幅に目標を下回る結果となった。

##### 4.1 二酸化炭素排出量の削減 (原単位;kg-co2/万円)

環境目標項目	項目	基準値 (2019年度)	2020年度 実績	2021年度 目標	2024年度 長期目標	
全体	原単位	2.81	3.24	3.07	2.06	
	削減率目標(%)	---	7.2	9.1	▲26.7	
	削減率(%)	---	15.1	---	---	
	評価	---	×	---	---	
内 訳	電気	原単位	2.56	2.98	2.83	1.83
		削減率目標(%)	---	6.5	10.4	▲28.7
		削減率(%)	---	16.4	---	---
		評価	---	×	---	---
	化石燃料	原単位	0.249	0.252	0.24	0.24
		削減率目標(%)	---	15.2	▲4.2	▲5.4
		削減率(%)	---	15.1	---	---
		評価	---	○	---	---
二酸化炭素排出量(総量)(kg-CO2)		222,941	213,974	202,884	---	

注)電気の二酸化炭素排出係数 0.525kg-CO2/kWh



## 4. 2水消費量およびコピー用紙の節減

環境目標項目	項目	基準値 (2019年度)	2020年度 実績	2021年度 目標	2024年度 長期目標
水の消費 (リットル/万円)	原単位	33.9	38.5	36.6	32.2
	削減率目標(%)	---	4.5	8.0	▲5.1
	削減率(%)	---	13.6	---	---
	評価	---	×	---	---
コピー用紙 (枚数/万円)	原単位	2.52	2.94	2.79	2.46
	削減率目標(%)	---	15.0	10.9	▲2.4
	削減率(%)	---	16.7	---	---
	評価	---	×	---	---

## 4. 3廃棄物排出量の削減 (原単位;kg/万円)

環境目標項目	項目	基準値 (2019年度)	2020年度 実績	2021年度 目標	2024年度 長期目標		
全体	原単位	2.31	2.62	2.62	2.26		
	削減率目標(%)	---	13.7	13.5	▲2.20		
	削減率(%)	---	13.5	---	---		
	評価	---	○	---	---		
内訳	ダンボール	原単位	2.13	2.41	2.41	2.08	
		削減率目標(%)	---	13.6	13.0	▲2.40	
		削減率(%)	---	13.0	---	---	
	その他	原単位	0.179	0.213	0.210	0.180	
		削減率目標(%)	---	14.4	19.3	---	
		削減率(%)	---	19.3	---	---	
廃棄区分	可燃廃棄物	廃棄量	実績・目標(kg)	527	378	378	472
		原単位	削減率目標(%)	---	▲13.5	▲14.0	▲7.9
		削減率(%)	---	▲14.0	---	---	
		評価	---	◎	---	---	
リサイクル率	目標(%)	---	96.6%	97.4%	96.7%		
	実績(%)	96.5%	97.4%	---	---		
	評価	---	◎				

1)リサイクル率は目標値を達成。従業員の協力で分別廃棄が進んだ結果と言える。

## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価ならびに違反、訴訟の有無

### 5.1 関連法規の遵守状況

環境保全活動を推進するに当り対象となる法規の2020年度の遵守状況の確認・評価は下表のとおり全て遵守した。

	法規名	適用理由	遵守事項	報告・確認・点検	遵守
1	浄化槽法	浄化槽6基	設置届・清掃・保守点検 法定検査	清掃12月、保守点検6、9、12、3月 法定検査3月	○
2	騒音規制法 振動法	コンプレッサー15kW 規制区域内	設置届・変更届・基準値	敷地境界で測定(4,10月)実施	○
3	悪臭防止法	規制区域内	臭気指数規制・敷地境界	臭気確認(2021年4月)実施	○
4	廃棄物処理法	一般廃棄 産廃廃棄	マニフェスト管理・委託契約書 保管基準・特管産廃管理者	管理票交付等状況報告書の提出 (6月) 業者契約書有効期限の確認	○
5	自動車リサイクル法	自動車を所有	車検	自動車リサイクル券を確認	○
6	家電リサイクル法	家電品等所有	廃棄時リサイクル費用支払	2018年度購入実績なし	○
7	フロン排出抑制法	業務用エアコン使用	廃棄・移設時の回収・破壊 簡易点検、定期点検 フロン類算定漏えい等の報告(一定 量以上)	フロン回収工程管理票と破壊証明書 を確認 簡易点検	○
8	消防法 (危険物)	危険物貯蔵所	設置許可・変更許可、設備点検 保安監督者	消火設備点検(4,10月)実施	○
9	県生活環境保全条例				
	(PM規制)	トラック等ディーゼル車所有	認定型式	認定型式設置を確認	○
	(アイドリングストップ)	20台以上の駐車場	アイドリングストップ掲示	掲示の確認	○
	(地下水汲み上)	第1種規制地域	設置届・変更届、採取量報告等	採取量報告書提出(1月)	○

### 5.2 関連法規の違反、訴訟の有無

事業活動における中で、環境関連法規への違反及び近隣からの訴訟は過去3年間ありません。  
また、関係当局から違反等の指摘、近隣住民からの訴訟も過去3年間ありません。

## 6. 環境経営活動の取り組み状況と次年度計画

2020年度の取り組み状況と2021年度の活動計画は以下のとおり。

6.1 二酸化炭素排出量の削減	
2020年度実績と取り組み状況	2021年度計画
①冷暖房運転管理の徹底 作業場の温度管理(夏季25℃以上、冬季19℃以下)は実施されていた。	①項は継続して推進する。  ②項は継続して推進する。  ③項は継続して推進する。  ④項は継続して推進する。
②消灯の徹底及び不要設備の運転禁止 朝礼等で全従業員に指導し、休憩時や作業終了時後の消灯機器・設備停止の徹底ならびに注意喚起を継続して行った。	
③電力のデマンドコントロール 昨年度に引き続きデマンド値170kWで設定し監視装置で管理。警報が出た場合は事務所→作業場の順でエアコンを停止。	
④機械更新による省エネ化の推進 新型コロナウイルスの影響により売上減で予算がとれず機器を更新できなかった。	
評価 ④以外は取り組みが実施されていたが、売上原単位の削減目標は未達だった。	

6.2 水消費の節減	
2020年度実績と取り組み状況	2021年度計画
① 手洗い時の節水、水の出しっ放し禁止の取組み。	①、②、③項は継続して取り組む。
② 散水の定期化 不要な水撒きを控え、計画的に推進した。	
③ 漏水管理の徹底管理を行った。 水栓トイレボールタップの止水を確認。	
評価 2019年度より使用量は減少しているが、売上原単位の削減目標は未達だった。	

6.3 廃棄物排出量の削減	
2020年度実績と取り組み状況	2021年度計画
①分別廃棄の徹底と教育 定期教育の徹底と朝礼でゴミ箱を開け、分別状況を見せて指導を行った。	①、②項は継続して取り組む。  ②項は実績値と原単位の両方で評価する。
② 可燃廃棄物量の削減 分別によるリサイクル(再資源)化を朝礼で指導した。	
評価 総廃棄物量は減少したが売上原単位削減目標は未達だったが、可燃廃棄物の削減・リサイクル率目標は達成した。	③リサイクル率も指標として管理する。

6.4 コピー用紙枚数の削減	
2020年度実績と取り組み状況	2021年度計画
①資料配布の低減 ・資料配布はできるだけ両面印刷で節減に努める。 ・品質向上から仕様書類、画像、イラストなどのラインへの 掲示物が増加したことにより、使用枚数が大幅に増加。 ②両面コピーによる再使用の推進 社内文書等はあるべく裏面を活用させ、またメモに使用している。	①、②項については継続して推進する。
評価	品質資料配布の増加により目標未達で終わった。

6.5 環境保全に関する教育の推進及びその他活動	
2020年度実績と取り組み状況	2021年度計画
①環境経営活動に向けての意識の向上 ・幹部に対しては会議を通じて活動状況・実績等を報告・ 共有化を計り、意識の向上に努めている。 ・従業員に対しては朝礼の場を活用して意識の向上を図る。 ②グリーン購買対象品の拡大 対象があれば推進している。 ③内部監査の実施 4月に実施し環境活動状況等を確認した。	①項は継続して推進する。 ②項も継続して推進する。 ③項は継続して実施する。
評価	計画どおりに実施されているが、大幅な売上減により目標が未達だった。目標再設定の検討も必要。

## 7. 代表者による全体評価と見直し結果・指示

- 2020年度は昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症により、人々が外出自粛を余儀なくされたことが影響し、当社の主力である化粧品等の需要が低下したことにより、受注量と売上が激減してしまった。また、感染症対策から昼休みの2交代制や製造ライン集約等で、各項目が売上に対してそれほど削減できず、売上原単位の削減目標が未達に終わってしまった。
- 環境関連法規の計画的な点検と当局への報告等、各法規は遵守されていることを確認。
- 「2017年ガイドライン」に沿って当環境経営システムが運用されていることを確認した。
- 厳しいコロナ渦で様々な制約がある中、環境活動にご協力いただき、各従業員の皆様には大変感謝申し上げます。  
2021年度については、2020年度実績を少しでも上回れるよう全従業員一丸となって環境活動にご協力を宜しくお願い申し上げます。

以上